

趣向凝らし華やかに

加古川で「踊つこまつり 祝宴の舞」

14チーム出演し観客魅了

耐震化工事を終えた加古川市民会館（同市加古川町北在家）で28日、「踊つこまつり祝宴の舞」があり、東播地域では最大級のホ

ールで、出演者が華やかに舞った。NPO法人・踊つこまつり振興会が、市民会館のリニューアル記念事業として企画。5

月の踊つこまつりで大賞を受けた「麗舞」など14チームが出演し、約800人の観客を魅了した。

各チームとも傘を使ったり、相撲を取り入れたりと趣向を凝らした踊りを披露。6月に公募したメンバーでつくる「チーム踊人」の2期生5人も、地元ゆかりの英雄「倭建命」をイメージした勇壮な踊りを見せた。

メンバーの伊藤楓さん(16)は「お客さんに楽しんでもらっていたら、うれしい」と息を弾ませた。

最後は、出演者が客席の通路まで繰り出した「総踊り」でフィナ

レ。WEST夢音舞の木田弥生さん(43)は「スポットライトが気持ち良い。祝福の気持ちを自いっぱい表現できた」と満足そうだった。

この後、市民会館では「倭建命と加古川フオーラム」（神戸新聞社後援）が開催。古事記、日本書紀をテーマにした作家竹田恒泰さんの講演とパネル討論があり、大勢の聴衆が詰め掛けた。

（井上太郎）



華やかに舞う出演者ら。加古川市加古川町北在家